


ガンベリ公園、春たけなわ

アフガニスタンやイランの暦では、春分の日が元日でイーデ・ノウロズ（新年の祝日）として祝われる。3月21日、今年は多数の市民がガンベリ記念公園やカマ堰、ミラーン堰などのPMS施設に集まり、盛大なお祝いとなった。特にカマ堰は立錐の余地なく、多くの者が、家族連れで訪れたのも新しい傾向だ。それだけ、PMSの施設が知られるようになったことと共に、作業地での治安の安定と人々の平和への願望を印象づけた。ジャララバードだけでなく、カブール、ヘラート、バーミヤンなど遠隔地からの市民も目立った。

ガンベリ公園は2週間後にバラが満開となる。

（撮影；ジア先生）



A photograph of a canal lined with young trees and stone walls. The canal is filled with water, and the trees on both sides are lush green. The stone walls are made of stacked stones. The sky is clear and blue.

新緑の用水路 樹々の芽吹き

3月初旬から用水路沿いのヤナギが一斉に芽吹き始め、3月下旬には輝くような新緑が出そろふ。やや遅れてクワの木が葉を広げ、半月遅れでシーシャムが続く。

この頃はクナル河の増水が始まり、次第に泥土を含む濁流となっていく。既に夏を思わせる強烈な陽光が注ぎ、新緑を鮮やかに浮き立たせる。

3月中旬に植樹数は100万本を達成、その60%がヤナギだ。

(2019年3月28日、ミラーン堰水路)

FAO・アフガン事務所長来訪

FAO 新所長

4月1日、FAO（国連食糧農業機関）アフガン事務所の新所長が来訪、ミラーン訓練所、カマ堰、PMS ガンベリ農場らを見学した。新所長はネパールの方で、特に環境問題に造詣が深く、温暖化による干ばつの危機に強い関心を抱いている。写真はミラーン訓練所の教室で、山田堰の模型と共に。

2019年4月1日



植樹数 100 万本を達成

カチャラ（マルワリードⅡ）堰流域は今冬、記録的な植樹が行われた。

取水口から用水路 5.5 km 全線、護岸線 7 km まで、柳枝工や樹林帯の造成などで数万本のヤナギ、シーシャム、ユーカリなどの植樹が行われ、総計すれば 5 万本を超える。

この結果、PMS が 2003 年から行ってきた植樹は 100 万本を超えた。最も多いのがヤナギで 62 万本、次いでガズ 14 万、ユーカリ 13 万、シーシャムは 2 万本だが次第に数を増している。

写真はマルワリードⅡ、約 2 km 地点。背景はケシュマンド山脈の白雪。2019 年 3 月 28 日



植樹、100万本を達成

カチャラ堰流域、護岸工事が急ピッチ

FAO（国連食糧農業機関）アフガン所長来訪

クナール河増水が始まる

現地は春たけなわ、新緑が目にも痛い季節となりました。2週間後にはガンベリ記念公園でバラが満開、春の美がピークに達します。

現在 PMS の工事は、カチャラ堰（マルワリードⅡのことです。マルワリード堰と紛らわしいのでこの名称をここでは使います。）流域の護岸に主力を置き、ガンベリ・シギ排水路の工事を同時に進めています。カチャラ堰流域は2010年の大洪水で大被害が発生した場所で、死者行方不明多数、多くの村人が離村、地域が一举に荒廃しています。第一期工事（2016年10月～2018年9月）で安定灌漑を実現したものの、最大の仕上げが洪水対策と見て、仕事が続けられています。

既に最も浸食が激しかった護岸3～7km地点は水制工による根固めが完了し、現在かさ上げ工事が行われています。同時に大掛かりな植樹が行われて、用水路沿いの柳枝工、護岸沿いの樹林帯の植樹が一段落しています。このため、2003年からの植樹数は、3月で100万本を達成、現在内訳の集計をしています。

今年に入ってから全アフガニスタンで大きな降雨が断続的にあり、北部は豪雪で数百名の死者が出るほどでした。このため、干ばつは一時遠のいたものの、今度は融雪による洪水発生が心配されています。何れにしても、安定灌漑の重要性は変わらず、PMS取水方式の普及活動にも熱が入り始めています。4月1日にはFAOアフガン所長が来訪し、共にラグマン州の知事を訪れ、新たな灌漑計画を勧めるほどになっています。

ガンベリ排水路・シギ分枝は650mまで試験掘削を進め、一斉に貯留水が引き始めたのを確認、いよいよ工事が本格的となります。約1.9kmの完成は今年12月と見えています。今冬は、昨年鉄砲水で寸断されたマルワリード用水路の改修を続けながら、同堰の大改修が予定されているので、気を抜かず着実に進めて参ります。

2019年4月1日 記

カマ第一堰で見るクナール河の増水。前日の流域の降雨で水位が0.3m上昇、そのまま濁流は消えず、夏の気配となった。2019年3月30日



土砂吐

高所から見るカマ第一堰の全貌。増水期前 2019年2月22日 職員撮影



同下流側高所より見る。砂州をはさむ河道 2 に水量の約 25% が迂回し、堰にかかる負荷を軽くしている。堰上流・岩盤の水衝部からの流れが、土砂吐と洪水吐の二手に分かれて分散しているのが分かる。堰と砂州との接合部は浅く、浸蝕は考えられない。2019 年 2 月 25 日 職員撮影

